

**2024年度  
保護者等からの児童発達支援事業所評価の集計結果（公表）**

公表：2025年 4月 12日

事業所名 児童発達支援事業所Tossie 保護者等数(児童数) 7 回収数 7 割合 100 %

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制整備	1	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	7					定員10名に対して全体から見るとスペース的には狭いが、基準上は問題ない。スペースを区切ったり、活動をグループに分けるなど工夫している。状況次第で、個室での個別支援も行っている。天気の良い日には、屋外で活動する事を基本としている。
	2	職員の配置数や専門性は適切であるか	7					管理者1名・児童発達支援管理責任者2名・児童指導員1名の配置基準に加えて保育士を常勤換算で1名以上多く配置し、専門的な支援をしている。さらに5年以上継続して勤務する児童指導員を常勤換算で1名配置し、専門的支援加算の対象となっている。
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境*1になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	7					個人ロッカーに写真を貼り、視覚でわかりやすく工夫している。段差はなくバリアフリーになっており、各部屋、トイレ、お風呂全てに鍵をかけて安全を確保している。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	7				・活動室含め、事業所内はいつも清潔が保たれていると感じます。	活動の中で、子ども達と職員と一緒に雑巾がけをしている。日当たりも良く、快適である。体を動かす活動の時には、椅子などを活動室の外に出す等、スペースを広く使えるように工夫している。また、活動に集中できるよう、おもちゃ等は必要に応じて室外から持ってきている。
	5	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画*2が作成されているか	7				・面談時などしっかりヒヤリングしてくれて、ていねいに支援計画書を作成してくれている。 ・日頃から子どもの様子をよく見ていただいているため、その子に合った課題を盛り込んだ丁寧な支援計画を作っていただいています。	児童のアセスメントシートを活用し、保護者からの情報を引き出すとともに、日々の活動での児童の様子を観察し、特記事項を記録し職員で共有している。それらを基に児童の実態を把握し、半年ごとに保護者との面談を交えながら個別の支援計画書を作成している。

適切な支援の提供	6	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	7				個々の発達支援はもちろんのこと、家庭内での相談等には随時対応している。現在地域支援は積極的には行っていないが、法人内の保育園との交流を積極的に増やしていきたい。児童発達支援ガイドラインはファイルに綴じ、玄関入り口付近に置き、いつでも閲覧できる。	
	7	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	7				職員会議や職員ミーティングを通して、職員間で個別の情報を共有している。職員ミーティングはおおむね週1回非常勤職員も参加して行い、十分に支援の軸の統制を図れている。	
	8	活動プログラム*3が固定化しないよう工夫されているか	7				・外での活動(散歩)を中心に、水あそびや季節行事、リズムあそびなど工夫されていると感じます。	
	9	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	5	1	1	・年長児の取り組みでわらしこ保育園体験をさせてもらっている。集団活動の良い経験になっていて、とてもありがたい。 ・年長児ではあるようです。 ・年長児の取り組みで同法人の保育園に訪問に行き、その園児からたくさん刺激をもらっています。	職員体制の都合や児童の特性も考慮し、今年度は年長児のみに限定している。次年度は、広くゆったりとした保育園の園庭で過ごす経験を、年中児も体験していきたいと計画している。	
	10	運営規定、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	7				・しっかり説明していただきました。	重要事項説明は、閲覧できるように常時掲示している。利用者負担についても、利用開始前の重要事項説明面談の際に、説明している。
	11	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明がなされたか	7				・しっかり説明していただきました。	半年に1度個別支援計画に伴う個別面談を必ず行い、個別支援計画を保護者に示し、丁寧に説明し同意を得ている。
	12	保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング*4等)が行われているか	6	1			・連絡帳などで困り事や悩み事を伝えると、それに対するアドバイスや対応のアドバイスをいただける。 ・居宅訪問、給食試食会、親子遠足など、保護者に対する支援等充実していると思います。	保護者懇談会(年2回)、親子遠足(年3回)、給食試食会(毎月1回)、就学相談会(年1回)を開催している。支援の中での発達課題や伸びたことを共有しながら、職員がアドバイスしている。

保護者への説明等	13	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状態、課題について共通理解ができているか	7			<ul style="list-style-type: none"> <li>・毎日お迎え時に日中のできごとを詳しく教えてくれている。</li> <li>・送迎時や連絡帳で情報を先生にお伝えできるので、よく理解していただいていると思います。</li> </ul>	毎日、連絡帳および児童送迎の際に保護者の方と情報を共有している。給食試食会や親子遠足を開催して、保護者同士が情報交換できる場を設けている。
	14	定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	7			<ul style="list-style-type: none"> <li>・面談はいつも時間をかけていねいに行ってくさっている。</li> <li>・年2回の面談はもちろん、送迎時にも悩み事などアドバイスをいただいています。</li> </ul>	随時、相談に適切に応じ、助言と支援を行っている。必要に応じて、対面での個別面談を設定した。
	15	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	5	2		<ul style="list-style-type: none"> <li>・年2回ほど保護者会があり、保護者同士の交流がそこでできています。</li> </ul>	保護者懇談会(年2回)、親子遠足(年3回)、給食試食会(毎月1回)、就学相談会(年1回)を開催している。
	16	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されているか	7			<ul style="list-style-type: none"> <li>・どんなに小さな事でも迅速に対応してくさるので、とてもありがたいです。</li> </ul>	随時、必要に応じて対応している。苦情等に関しては玄関に意見箱を設け、直接申し出にくい事案についても、対応を整備している。
	17	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	7				児童に対しては言葉の表出も大切にしながら、ジェスチャーも併用して意志の疎通に努めている。保護者へは連絡帳や、必要に応じて電話等で連絡をするなど、情報の共有に努めている。
	18	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されているか	7			<ul style="list-style-type: none"> <li>・ホームページのブログは毎日楽しみにしている。</li> <li>・活動の様子や毎日の給食など、ブログでチェックできるので、楽しみにしています。</li> <li>・行事予定も毎月紙でお知らせいただいています。</li> </ul>	毎日ブログにて活動内容や給食を発信している。また保護者懇談会では、活動中の写真も保護者に共有しながら、利用児童全員の育ちの姿を保護者に共有できた。自己評価の結果は年1回、ホームページにて公表している。

	19	個人情報の取り扱いに十分注意されているか	7					職員マニュアルを基に、職員に周知し、十分配慮している。	
非常時等の対応	20	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか。また、発生を想定した訓練が実施されているか。	7					・緊急時のマニュアル、連絡方法などいただいているので安心します。非常食を置かせていただいているのも安心します。	緊急時対応マニュアルを保護者にも配布し、月に1回避難訓練を行っている。防犯マニュアル・感染症対応マニュアルは周知できていないため、今後整備し周知に努める。
	21	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	6				1	・避難訓練はよく行っているので、預けている保護者としては安心します。	定期的に避難訓練を行っている。また非常時の食事も保護者からお預かりし、個別に管理している。
満足度	22	子どもは通所を楽しみにしているか	7					・毎日楽しみに、かけがえのない居場所となっています。	完全母子分離で6時間お預りする事業所であるため、お友達・職員と一緒に過ごす事に慣れると、児童本人も自信を持ち、楽しく活動に参加している姿が多く見られる。
	23	事業所の支援に満足しているか	7					・先生たちが本当に信頼できる方たちなので支援には大変満足しています。・いつもありがとうございます。	活動内容自体は生活を基盤にしている為、目に見えてわかりにくいですが、この生活が児童本人にとってまさに生活動作に直結し、自信に繋がり、「生きる力」となる。週6日Tossieでの毎日の積み重ねを通して、自分の意志で生活に参加し、それが一人ひとりの力となっている。

\*1 この部屋で何をするのかを示せるように、机や本棚の配置など、子ども本人にわかりやすくすること。

\*2 児童発達支援を利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のこと。児童発達支援センター又は児童発達支援事業所の児童発達支援管理責任者が作成する。

\*3 事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のこと。子どもの障がい特性や課題、平日／休日／長期休暇の別等に応じて柔軟に組み合わせて実施されることが想定されている。

\*4 保護者が子どもの行動を観察して障がいの特性を理解したり、障がいの特性を踏まえた褒め方等を学ぶこと。子どもが適切な行動を獲得することを目標としている。